



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画:道路橋の維持管理システムの高度化(3年目)

【事業の概要】

山梨県内における道路構造物(主として橋梁およびトンネル)を対象とした維持管理システムの高度化に向けた検討を行う。

- (1) 国, 県, 市町村による道路構造物の維持管理に関する地域連携のあり方について検討する。
- (2) 道路構造物のデータベースの構築と活用について検討する。
- (3) 構造物のより合理的な点検および性能評価システムの構築について検討する。
- (4) 構造物の効果的な対策システムの構築について検討する。

【役割分担】

- (1) 県の役割: 国および市町村との調整を行い, 地域の現状の把握と共通認識の構築を目指す。
- (2) 大学の役割: 維持管理に関する学会, 国, およびその他の地域における取組み事例等の情報提供を行うとともに, 維持管理に関する教育および技術的課題の解決に取り組む。

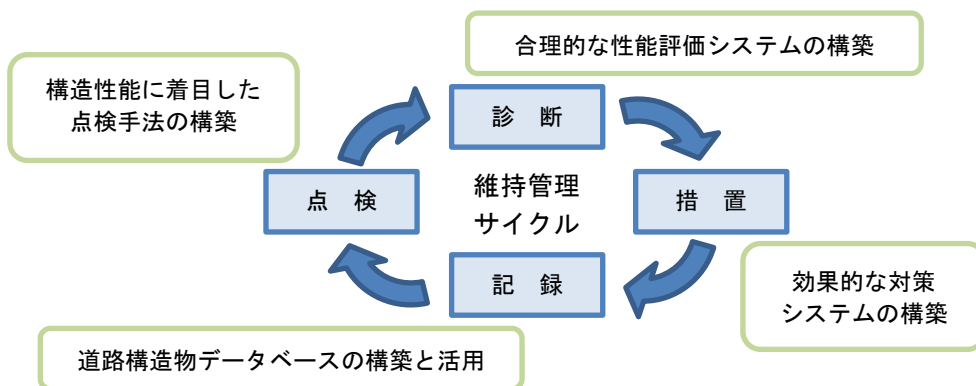


図 道路構造物の維持管理システムの高度化



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

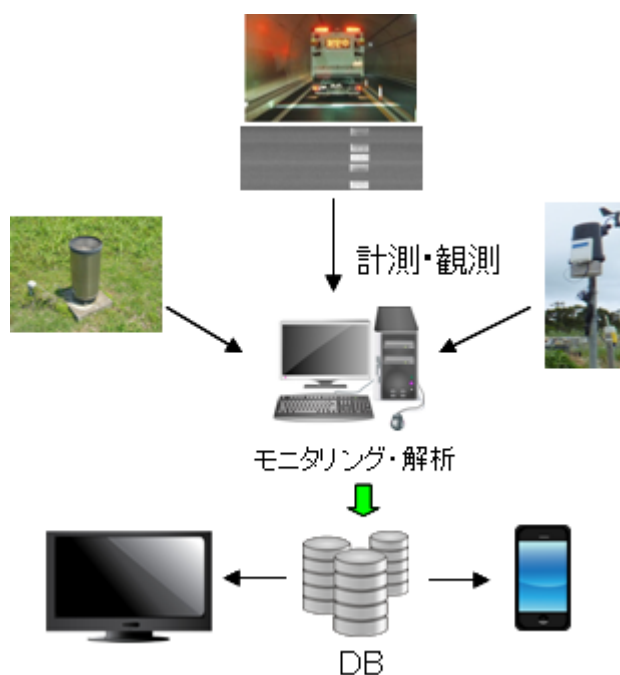
平成29年度事業計画：地域の発達と情報 -社会基盤施設の健全度評価に関する クリアリングハウスの構築-

【事業の概要】

- (1) 橋梁，斜面，道路等の社会基盤施設の健全度を評価するための技術を確立する。
- (2) 評価結果を一元化し，クリアリングハウスのプロトタイプを提示する。
- (3) 評価結果をベースとして，災害・事故などの非常時における社会基盤施設の性能を予測する技術を開発する。

【役割分担】

- (1) 県・市町村での社会基盤施設の実計測（国あるいは県・市町村に協力依頼）
- (2) 社会基盤施設のデータ提供（国あるいは県・市町村）
- (3) 社会基盤施設の健全度を評価する技術の開発（大学）
- (4) 社会基盤施設の健全度評価結果を一元化したクリアリングハウスの構築（大学）
- (5) 社会基盤施設の性能予測技術の開発（大学）





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日
国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：データ駆動型地域マネジメント講座

【事業の概要】

連携先：山梨県総合政策部 地域創生・人口対策課他

目的：エビデンスベースの地域マネジメントを行える人材の育成。

企業の事業展開支援

内容

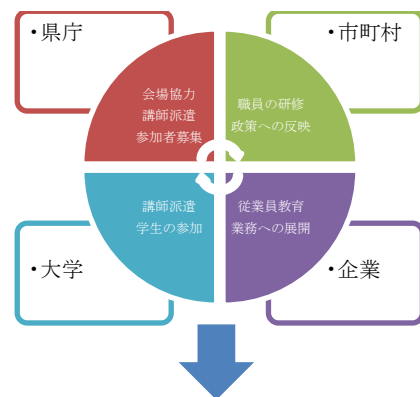
- (1) RESAS等のデータベース活用方法についての講座を開催
- (2) 基礎的な使い方と具体的なニーズに対応した追加的データ収集・分析手法
- (3) ニーズ等を踏まえたエビデンスベースの政策提案

【役割分担】

- (1) 県庁：会場協力，情報提供，参加者の募集
- (2) 市町村：参加者の募集，ニーズ提供
- (3) 大学：講師の派遣，学生の参加
- (4) 企業：従業員の参加，ニーズ提供



昨年度実施した地域経済分析システム
(RESAS) 講座



地域マネジメントと活性化・就業機会創出支援



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：

学校における実践的避難訓練普及啓発事業（新規）

【事業の概要】

- (1) 小学校・中学校・高等学校の現場で活用可能な実践的な避難訓練のガイドブックを制作する。
- (2) 7月開催の新防災リーダー&地震防災対策研修会、8月開催の防災教室等を利用して、実践的避難訓練の普及啓発を行う。
- (3) 全県的な実践的避難訓練の普及を目指す。

【役割分担】

- (1) 県教育庁：ガイドブック制作，研修の実施，全県的な普及方策の検討
- (2) 大学：ガイドブック制作，事業監修

実践的避難訓練ガイド

緊急地震速報を活用した 抜き打ち避難訓練ガイド

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター
山梨防災教育研究会

平成29年〇月

普及啓発





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日
国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：

小学校における地域の災害の歴史を踏まえた防災教育の展開 (新規, 単年度)

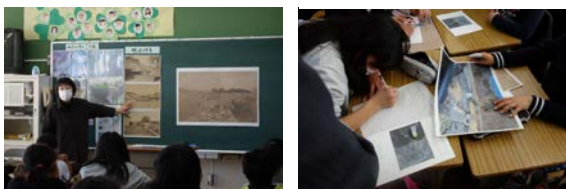
【事業の概要】

- (1) 白根源小学校をモデル学校として指導の実践を行い、地域の災害の歴史と防災を学習するための指導案を作成する。
- (2) 他地域に展開可能な防災教育モデルについて検討する。

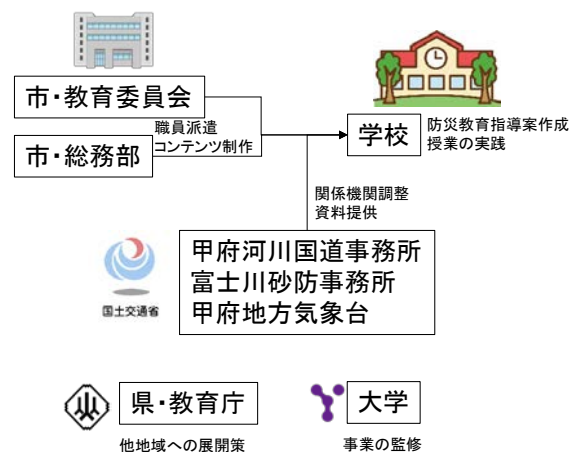
【役割分担】

- (1) 白根源小学校, 南アルプス市：防災教育指導案の作成, 授業の実践
- (2) 国土交通省：関係機関の調整, 資料提供
- (3) 県教委：他地域への展開策
- (4) 大学：事業の監修

治水・砂防関連の防災教育指導の実践



事業のイメージと役割分担





山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成29年5月24日

国立大学法人 山梨大学

平成29年度事業計画：（水害に強い街づくり）

【事業の概要】

- (1) 国土交通省河川砂防研究開発制度の3か年の委託研究「産官学民協働の水害に強い街づくりのためのリスクコミュニケーション手法の構築」（2年目）を推進する。
- (2) 甲府市大里地区の地区防災計画策定に向けたリスクコミュニケーション
- (3) 中央市リバーサイドタウンの地区防災計画策定に向けたリスクコミュニケーション
- (4) 避難行動要支援者の避難支援体制の構築
- (5) 避難シミュレーション

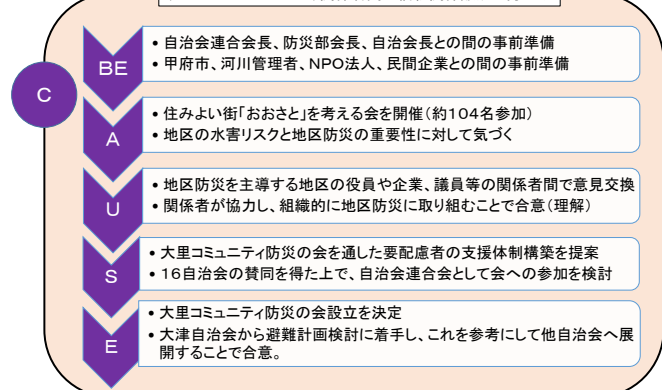
【役割分担】

- (1) 山梨大学は甲府市大里地区，中央市リバーサイドタウンの地区住民，甲府市，中央市等とのリスクコミュニケーションを推進し，地区防災計画立案を支援する。
- (2) 国土交通省甲府河川国道事務所は，国直轄管理河川の想定外最大規模の降雨に基づく氾濫シミュレーションの結果を山梨大学に提供する他，リスクコミュニケーションに協力する。
- (3) 山梨県は，県管理河川の想定外最大規模の降雨に基づく氾濫シミュレーションの結果を山梨大学に提供する他，リスクコミュニケーションに協力する。



地区防災の会

すべてのプロセスにて、関係者間の信頼関係醸成に努める



平成28年度に実施したリスクコミュニケーション